

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 評価シート

【事業効果】

- A 地方創生に非常に効果的であった
- B 地方創生に相当程度効果があった
- C 地方創生に効果があった
- D 地方創生に効果がなかった

【事業の評価】

- 総合戦略のKPI達成に有効であった
- 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

【今後の方針】

- 追加等更に発展させる
- 事業内容の見直し(改善)
- 事業の継続
- 事業の中止
- 予定通り事業終了

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要	③ 交付金の種類	④ 交付金充当額	⑤ 実績額 経費内訳 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本事業終了後における実績値			⑧ 外部有識者からの評価		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		
						指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	内容	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	宝塚市総合戦略策定事業	観光資源と良好な住環境などを有する本市の特性を踏まえ、産業の振興と人口流入による地域の活性化を生み出す「宝塚市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	基礎交付	6,384,041	6,384,041 人口ビジョン・総合戦略策定委託料 5,292,000 有識者会議謝礼 236,400 食糧費 4,080 旅費 6,960 アンケート等郵便料 346,667 人口ビジョン・総合戦略策定印刷製本費 497,934	指標①	-	-	-	-	-	-	-	A 地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなどの場合)に選択) B 地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなどの場合)に選択) C 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合)に選択) D 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合)に選択)	外部有識者からの評価をどう受けて「今後の方針」欄の選択としたのか、その理由を記載。 なお、推進交付金を活用して更に発展させる場合はその旨も記載。		
2	在宅児支援事業 (保育所巡回指導事業)	少子化対策の一環として魅力ある子育て支援事業を進めることにより、若者定住のための地元PRを図る。 保育所に在籍する発達に課題のある児童のうち、対応に困難な保護者に向けての支援方法について、臨床心理士の立場から、保育所を巡回して保育士に指導助言を行う。	基礎交付	432,000	432,000 保育所巡回指導臨床心理士謝礼 432,000	指標①	指導後対象保護者に、保育所職員が適切な支援ができたと評価した割合	8割	H28.3	8	B 地方創生に相当程度効果があった	保育所に在籍する発達に課題のある児童のうち、対応に困難な保護者に向けての支援方法について臨床心理士が専門的な立場から、保育所を巡回して保育士に指導助言を行うことができた。	本事業における外部有識者からの意見を記載。 「有効であった」という評価の場合、本事業の良かった点は何か等、外部有識者から評価された点等を記載。				
3	市立保育所保育実施事業	少子化対策の一環として魅力ある子育て支援事業を進めることにより、若者定住のための地元PRを図る。 その取組として、保育所が地域で子育てをする親子支援の場となり、地域の子育て支援の核としての役割を担うための保育環境の改善に努める。	基礎交付	2,862,498	2,862,498 (各園和太鼓研修)講師謝礼 手数料 計1,279,866 (わだこフェスタ開催)手数料 消耗品費 計152,280 (和太鼓28台分)備品購入費 1,430,352	指標①	和太鼓演奏による情操教育に対する保護者の満足度	8割	H28.3	8	B 地方創生に相当程度効果があった	公立保育所における情操教育の一環として和太鼓演奏を日頃の保育に組み込み、園の行事で披露するほか、練習成果の発表会を行った。魅力ある子育て支援事業のひとつとして、効果があった。	「有効とは言えなかった」という評価の場合、本事業の何が良くなかったのか、何が原因で、どのような改善策が考えられるのか等、外部有識者からの意見を記載。				
4	特産品等開発及び販路拡大支援事業	特産品開発ならびに高い市場占有率が見込める宝塚らしさを形成するような商品や生産物等の開発に伴う研究、試作品開発を促進し、さらに既存の商品、生産物を含めその販路や事業拡大を促進することで、本市経済の活性化や税収確保、雇用の継続を図る。また、特産品開発、試作品開発等における必要な知識と実践を有する専門家を招くことで、先行的利益を確保するために商標取得をサポートしていく。	基礎交付	8,841,595	8,841,595 (補助金)特産品開発 2,070,595 設備投資 6,554,000 販路拡大 217,000	指標①	新規特産品の提案件数	20件	H28.3	14							
						指標②	新規設備投資提案件数	6件	H28.3	4							
						指標③	新規販路拡大申請数	28件	H28.3	1	C 地方創生に効果があった	特産品・加工品開発支援11件、設備投資3件、販路拡大1件に補助金の交付を行った。					
						指標④	専門家招へい件数	5件	H28.3	0							

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 評価シート

【事業効果】  
 A 地方創生に非常に効果的であった  
 B 地方創生に相当程度効果があった  
 C 地方創生に効果があった  
 D 地方創生に効果がなかった

【事業の評価】  
 総合戦略のKPI達成に有効であった  
 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

【今後の方針】  
 追加等更に発展させる  
 事業内容の見直し(改善)  
 事業の継続  
 事業の中止  
 予定通り事業終了

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要	③ 交付金の種類	④ 交付金 充当額	⑤ 実績額 経費内訳 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本事業終了後における実績値			⑧ 外部有識者からの評価		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について	
						指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	内容	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
5	観光振興事業 (海外誘客、宝塚魅力 体験、移動式赤ちゃん の駅連携事業)	宝塚市の連続した観光集客空間である、花のみら、宝塚大劇場、手塚治虫記念館、宝塚ホテルのエリアにおいて、アニメ文化や全国的に発信力のある宝塚歌劇を生かした、宝塚らしい魅力体験事業を展開する。あわせて、情報発信するための公衆無線LAN環境の整備、外国人の誘客に向けて手塚治虫記念館のトイレ改修を行い、また、子育て世代がファミリーで楽しめる観光空間づくりに向けた、移動式赤ちゃんの駅も集客イベントに併設することにより、気軽に参加できることで、宝塚への集客に一層の充実を図る。	基礎交付	24,758,099	24,758,099	指標①	観光プロムナード一帯での公衆無線LANの環境整備率	50	%	H28.3	23	B 地方創生に相当程度効果があった	観光プロムナードに公衆無線LANを整備し、観光客の意入れ体制を整えた。アニメフェスタにおいてはのべ8232人の集客に成功した。台湾キャンペーンは30万人を超える来場者にPRを行い、台湾人旅行者の増加に繋げることができた。OGを活用した舞踏会においては目標値を超える参加者が集まり、多数のOGが参加したことで各メディアで取り上げられた。魅力発信事業では、外国語に対応したARパンフレットを作成し、西谷地区の魅力をPRする動画を作成し、市ホームページなどで公開した。			
指標②	アニメ関連イベントでの集客数	600	人	H28.3	8,232											
指標③	台湾からの観光客数	10	%増	H28.3	27											
指標④	手塚治虫記念館の外国人来館者数	11,000	人	H28.3	11,667											
指標⑤	歌劇のOG等を活用した事業による集客数	1,100	人	H28.3	1,162											
6	魅力ある教育推進事業	子どもたちが自ら学ぶ力や生きる力を育み、将来を担う人材の育成を図る教育環境の整備として、日本一の学校給食を目指す。宝塚市の取組が全国の注目を浴びています。料理の投稿・検索サイトの「クックパッド」に掲載した給食レシピがマスコミでも大きく取り上げられ、注目されています。今後、その給食レシピ集などを作成し、学校給食のPRを行う。本市の教育環境の充実やPRにより、本市への定住・移住への促進につなげる。	基礎交付	4,718,361	4,719,431	指標①	大試食会の来場者数	3,000	人	H28.3	3,500	C 地方創生に効果があった	①大試食会 各戸へのチラシ配布をはじめ事前の広報活動の徹底により、目標値より多くの来場者を迎えることができ、教育活動の一環である学校給食を通して、本市の魅力を向上させることができた。 ②給食レシピへのアクセス アクセス数は掲載内容の更新のタイミングを逸したことなどから、見込みより目標値を達成することはできなかったが、全国に本市の学校給食の魅力を発信すること、また市外にレシピ集を配布することで、本市の魅力ある教育環境をPRすることができた。			
指標②	給食レシピへの年間アクセス件数	1,500,000	件	H28.3	894,325											

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 評価シート

【事業効果】

- A 地方創生に非常に効果的であった
- B 地方創生に相当程度効果があった
- C 地方創生に効果があった
- D 地方創生に効果がなかった

【事業の評価】

- 総合戦略のKPI達成に有効であった
- 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

【今後の方針】

- 追加等更に発展させる
- 事業内容の見直し(改善)
- 事業の継続
- 事業の中止
- 予定通り事業終了

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要	③ 交付金の種類	④ 交付金 充当額	⑤ 実績額 経費内訳 単位:円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本事業終了後における実績値			⑧ 外部有識者からの評価		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		
						指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	内容	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
7	ICT活用授業推進事業	子どもたちが自ら学ぶ力や生きる力を育み、将来を担う人材の育成を図るため、ICTを活用した授業ができる教育環境の整備を行う。それにより、魅力ある子育て環境を充実させ、本市への定住・移住への促進につなげる。	基礎交付	33,444,036	33,444,036 委託料 16,731,360 備品購入費 16,712,676	指標①	ICTの活用により、授業がよく分かるようになった児童生徒の割合	70	%	H28.3	78	A 地方創生に非常に効果的であった	学校ICT支援員を市内公立全小中学校に派遣することにより、電子黒板やICT機器を活用した授業実践が展開でき、児童生徒の学習への興味関心が高揚するとともに、授業が分かりやすくなった等の顕著な効果があった。				
8	シティプロモーション推進事業	宝塚の都市の魅力を広く全国にウェブサイトを通じて発信し、定住したいまちとしてのイメージアップを図る。	基礎交付	890,329	890,329 委託料(サイト制作) 711,504 備品購入費 96,768 通信電話料 12,047 講師謝礼(研修会) 50,000 費用弁償 19,900 食糧費 110	指標①	ウェブサイト月間アクセス数	3,000	件	H28.3	3,747	A 地方創生に非常に効果的であった	サイトオープン直後の2・3月の月間平均アクセス数は、目標値を超える実績であった。多くの方に当該サイトをアクセスしていただくことができ、本市のPRに一定の効果があった。				
9	5歳児発達相談事業	5歳児発達相談を実施し、発達障がいにより配慮が必要な子どもと、その保護者を就学前から支援し、発達障害児に応じた子育てを行い、安心して就学が迎えられるよう支援体制を整えることで、子育てにやさしいまちとして、子育て世代の定住促進を図る。	基礎交付	2,009,671	2,223,855 保健師等賃金 359,500 医師・心理士報酬費 425,000 消耗品費(文具、用紙、オモチャ、名札、リーフレット等) 375,311 郵便料 1,497 備品購入費(机、イス、文書キャビネット等) 1,062,547	指標①	発達相談を受けた子どもの数	30	人	H28.3	13	C 地方創生に効果があった	モデル事業として一部の地域の5歳児299人の保護者を対象としてアンケート調査を実施し、発達相談を希望された13組の親子に対して相談会を実施した。13組のうち9組は経過観察となり、その後、教育委員会が実施する相談事業につながった。参加者からは、子どもの育てにくさや友達との関係などの相談があり、就学に向けた不安が和らぎ、有意義な場となったとの声があった。				
合計				84,340,630	84,555,884												